



# 中山溪 (下関市菊川町東中山)

今回は、手軽に自然を満喫したい方にお勧めの『中山溪(ちゅうざんけい)』を歩きます！

中山溪は、変化に富んだ溪谷散歩を楽しむことができ、見どころとなる2つの滝も有しています。川の流れて上流へと歩いていくと、日常の喧騒を忘れさせてくれる静けさが待っていました。場所は、下関市菊川町「道の駅きくがわ」から豊田町方面にしばらく走り、右手に橋と案内板が見えたら、あとはこの案内に従って行けば到着します。

遊歩道そばの「ふれあい広場」に車を停めて、いざ出発です！！



取材した日は天気もよく、写真撮影には最適の1日でした。

まずは遊歩マップを確かめて、全長を確認します。

遊歩道は、想像していたよりも意外に幅狭。しかも右側は、足を踏み外すと真っ逆さまに溜池にドボン…。さらに目に飛び込んできたのは、

**「道が狭いので転落しないよう 呉々も注意して下さい。」**

の看板が！いったいこの先どんな険しい道が待っているのでしょうか…不安がよぎります。

そんな私の心を余所に、一部の木はきれいに紅葉していて、まだ緑が残る部分と紅葉部分とのコントラストが、本当に美しい！その美しい姿に見惚れて、足を踏み外さないように、気を引き締めてさらに歩を進めます。



← 木に囲まれたトンネルのようでした。行く先が見えないところが、またドキドキ感を増します。



雌滝さま



雄滝さま

日のあたる場所は暖かかったせいか、虫の羽音がかなりしていましたが、木が徐々に生い茂り、日差しも届かないほどになると、それまでの騒がしさが嘘のように静まり、代わりに水の流れる音が聞こえ始め、空気もひんやりとして一気に別世界です。

早々に1つ目のポイントである「雌滝さま」に到着。なぜか滝の名前に「さま」が付いていました。

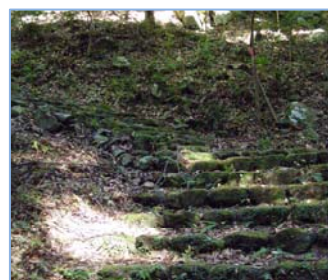
さらに奥の「雄滝さま」を目指しますが、雌滝さまのあたりから川の流れるすぐそばに遊歩道があるため、川に沿って進んでいきます。写真ではわかりづらいですが、水がとても澄んでいて、本当に綺麗でした。少し急な坂があったり、連なる岩の上を歩いたり、ちょっとしたアドベンチャー気分も味わえました。



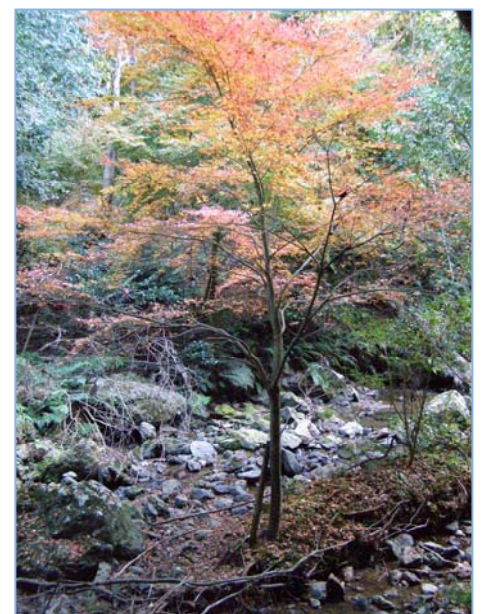
川の方にせり出した岩を避けながら、時々立ち止まって、川の澄んだ水や紅葉している木々を眺めて、気分もリフレッシュ！ 森林浴も楽しめますよ♪

「雌滝さま」「雄滝さま」については、雨が降った後は水量も多く、迫力ある様を見ることができるのですが、ここ最近では天気が崩れることもなかったため、写真のような状態でした。

溪谷と聞くと、かなり山奥深く分け入っていかなければならないイメージがありますが、規模は小さいながらも、山歩きの雰囲気を味わいながらのウォーキングを近場で満喫できる、数少ない場所だと思います。



暖かい日が続いていましたが、→ 季節は日々変化しているのでね。



ふれあい広場そばには、湧水「中山恵の水」が汲めるようになっていました。空のペットボトル持参で行くことをお勧めします。

県道からの道は、案内板が出ているので難なく到着できました。ただし、道幅が狭いので運転にはくれぐれもご注意を！

ちなみにトイレはありませんので、事前に近くの道の駅を利用されると思います。

中山峡の周辺には、「道の駅蛍街道西ノ市」や「豊田ホテルの里ミュージアム」もあるので、足をのばしてみてくださいね！！

雌滝まで、往復 **2,513**歩でした!



まんぼ